

土曜講座『稽古館』

彦根藩校『稽古館』の名を冠する

あの講座が今年も開設！

✚ 彦根東高校の先生方による幅広い講座

* 普段の授業では味わえない内容が盛りだくさん！

* もちろん日ごろの学習に役立つものも

✚ 1講座は60分(①8:30-②9:45-③11:00-)

✚ 年間8回実施(6月に講座登録開始→ 第1回は7月15日！)

学びのチャンスを自らつかむ人となれ

受講者大募集

>>>NEXT 藩校『稽古館』について

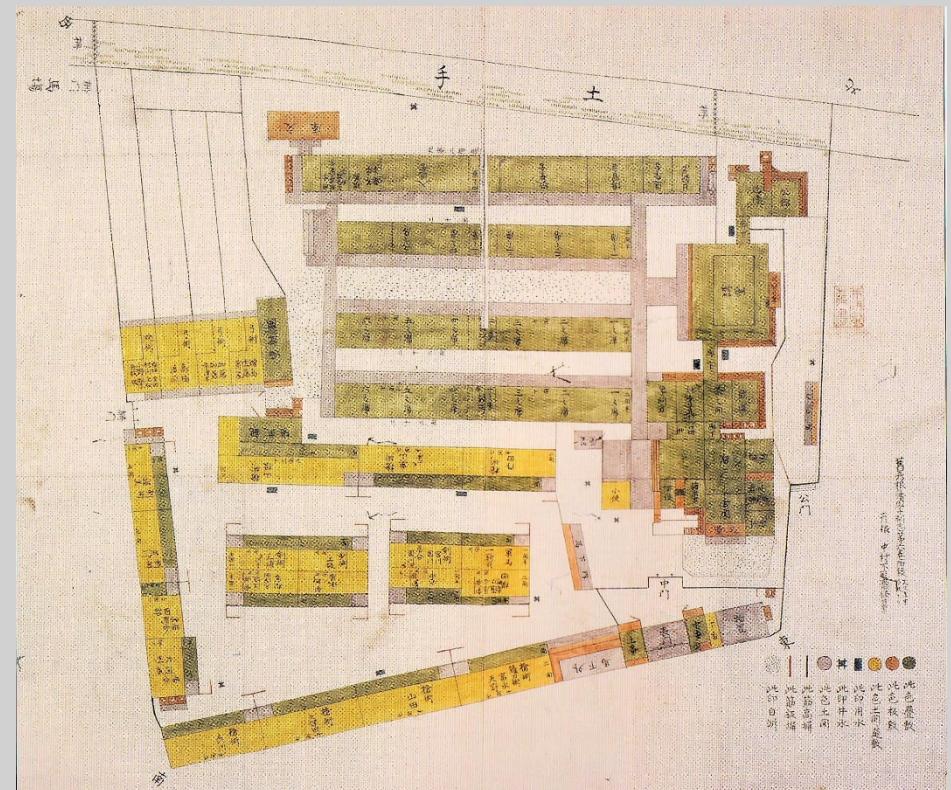
稽古館 ～受け継がれる人間性と知への探求心～

1. 稽古館とは

彦根藩 11 代当主井伊直中（なおなか）が設置した藩校。家臣が遺言として残した藩校建設の進言を受け、5 年にわたる全国の教育施設の視察ののちに、直中は稽古館を完成させた。稽古館では、朝から音読や書道、算術や天文学、古典や医学に到るまで、様々な学問が学ばれ、午後は剣術や弓術などの武芸に勤しんだ。

2. 稽古館の理念

稽古館の掟には「武術に優れても自分勝手に礼儀知らずの者、勉強ができて武道の心掛けがなく、貧弱で人をののしるような者は国家の害」であると書かれた一節がある。稽古館では、偏った学びは避け、常に文武両道であること、人間として立派であることが求められた。さらに掟には「生まれつき不器用で突出した能力がなくても、人として正しいことをしていれば、恥ずべきことは全くない」と、多様な生徒への配慮をうかがわせる文言が示されている。実際に、読解能力に応じた教科書を採用するなど、工夫された教育が行われていた。



↑ 稽古館平面図

200 年前の「東高生」が研鑽を積んだ

3. 200 年の時を経て現代、そして未来へ

稽古館は天保元年（1830）、12 代当主井伊直亮（なおあき）により名称を弘道館と改められたが、その後も文武両道の精神のもと、諸武術に加え様々な学問を学ぶ場として多くの有能な藩士を輩出した。のちに大老となる 13 代当主井伊直弼（なおすけ）も、彦根藩の発展のため藩校の教育振興に力を注いだ。

明治に入り、藩立学校廃止令により廃校となるが、すぐさま第三大学区第十一番中学区彦根学校という形ではみがあり、滋賀県第一中学校、彦根中学校など、数度の改編を経て現在の彦根東高等学校となった。彦根藩校稽古館が目指した人間性と幅広い知への探求心は、この先も脈々と受け継がれていく。